

ひがしかわぐち

東川口地区

(新潟県長岡市(旧川口町))

- 計画期間 平成16年度～平成20年度
- 面積 42ha
- 交付対象事業費 358百万円
- 町人口 4,457人(地区内人口 1,021人)

ポイント 安全安心の暮らしを実現「地域資源を活かした町民参加のタウンコア整備事業」

地区概要 流雪溝・雨水排除施設整備による生活環境の快適性の向上、環状線の整備による袋小路の解消・防災広場・水辺プラザの整備による防災活動・地域コミュニティを高め、先導的まちづくりの実現をめざす。

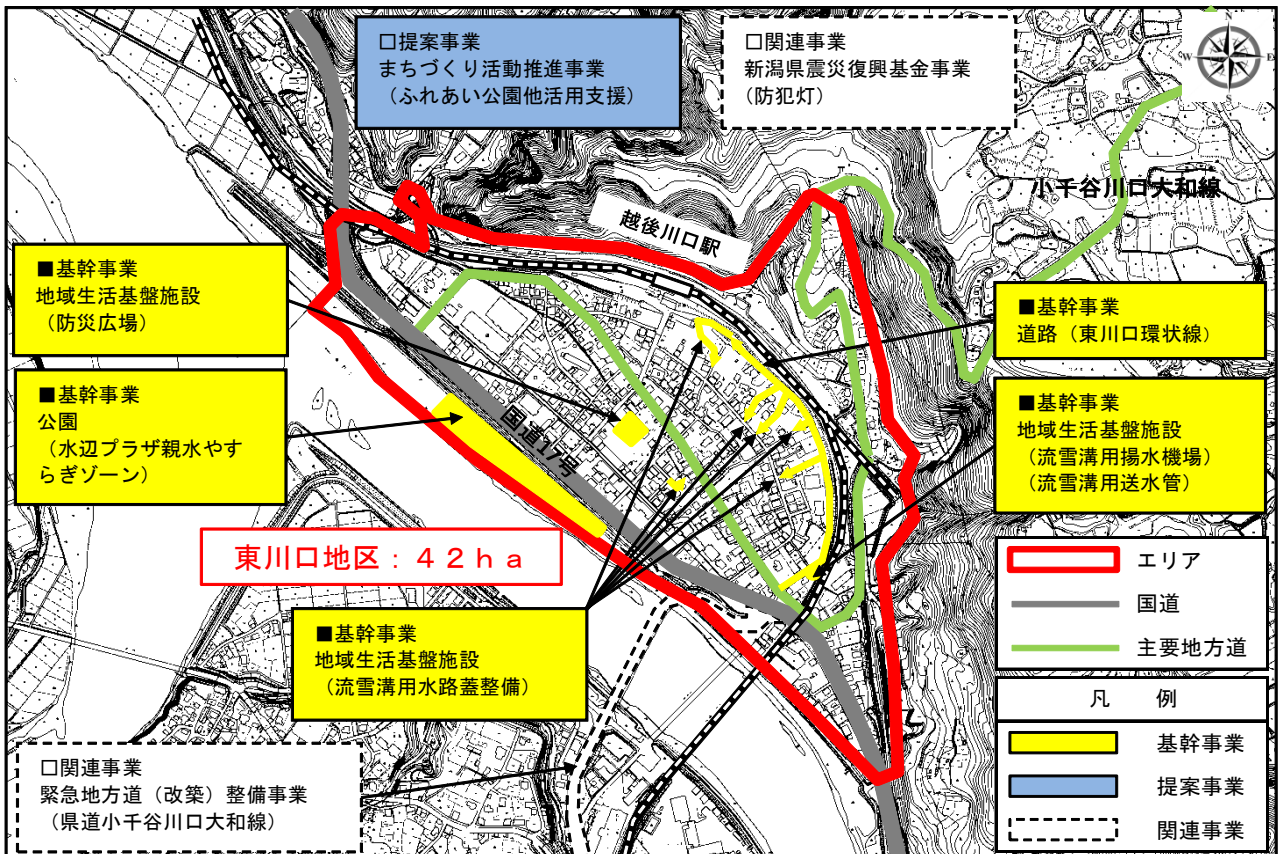
目標 良好な居住環境の形成により潤いのある暮らしが出来るまちづくりを行う。

指標 新潟県中越大震災の被害により現在急激に減少している居住人口に歯止めを掛け、施設利用率及び生活環境の満足度の向上を目標とした。

住居者数	1,425人 (H16) → 1,203人 (H21)
克雪施設の利用者数率	70% (H16) → 85% (H21)
生活環境の満足度	57% (H16) → 46% (H21)

事業内容 基幹事業 (354 百万円) → 道路 (幅員 7m、延長 540m)、公園 (1カ所 3,158 m²)、地域生活基盤 (克雪用水ポンプ場 1棟、流雪溝整備 6路線)、防災広場 (1カ所 1,000 m²)

提案事業 (4 百万円) → ふれあい公園他活用支援



地区の現況と課題

東川口地区は行政機関、商店街、医療機関が集中し、その周辺に住宅地が形成された複合地帯であり、JR 越後川口駅を中心とした町の玄関口としての中心的役割を担っている。

人口の減少、高齢化傾向は本町、本地区としても否めず、さらに、新潟県中越大地震以降、急激に人口が減少している。人口の減少に歯止めをかけるためには、良好な居住環境・生活環境の整備が緊急の課題となっている。また、町の中心市街地として位置付けているものの、袋小路も多く効率的なネットワークを築くためにも環状的な基幹交通路の強化が必要である。

現代社会に不足しているとなり近所の繋がり、地域内の連帯、情報交換、情報発信源の場としてのコミュニティ広場を有効活用するための活動を支援する。

計画策定プロセス

東川口震災復興委員会

震災からの復興へ向け、平成17年度から東川口震災復興委員会とともに、今後の克雪施設について検討し、平成18年度に全体計画を策定。

まちづくり交付金事業としては、優先順位をつけ、財政状況等を勘案し、都市再生整備計画（H16～H20）を作成している。

- ※ 都市再生整備計画進捗率 100%（平成20年度末見込み）
- ※ 全体計画の残りについては、平成21年度以降に整備予定。

事業実施状況

① 基幹事業

・道路

町道東川口環状線改良事業 L=540m W=7.0m C=233百万円

・公園

水辺プラザ 親水やすらぎゾーン A=3,158㎡ C=12.5百万円

・生活基盤

流雪溝（自由勾配側溝） L=376m C=35.5百万円

流雪溝用送水管（VUφ200～450） L=680m C=16百万円

流雪溝用揚水機場（ポンプ2基） C=50百万円

防災広場 1カ所 A=1,000㎡ C=7百万円

② 関連事業

・主要地方道 小千谷川口大和線（川口橋架替） L=791m（うち橋長L=211m）

・一般地方道 向山越後川口（停）線（歩道設置） L=310m

・新潟県震災復興基金事業

◎地域の活動状況【地域コミュニティ：よってげ亭ふれあい市】



中越大地震からの復興を祈念して、平成19年4月より月1回、第3日曜日に開催中。地域から元気を発信中!!!

東川口環状線整備計画



整備前



整備後

東川口震災復興委員会

